令和８年１１月１２日

芦屋市議会議長　中島　健一　様

建設公営企業常任委員長　帰山　和也

建設公営企業常任委員会　行政視察報告書

本委員会は、下記のとおり行政視察を実施しましたので、報告します。

記

１　日　　程　　令和８年１１月９日（月）～１１月１０日（火）

２　視察先及び　　下水道事業ウォーターＰＰＰの取組について（神奈川県三浦郡葉山町）
　　視 察 項 目　　防災に関する取組について（神奈川県鎌倉市）

３　参　加　者　　委 員 長　　帰山　和也
　　副委員長　　たかおか　知子
　　委　　員　　岩岡　りょうすけ、福井　利道、
　　寺前　尊文、大原　裕貴
　　随　　行　　髙松　靖子（市議会事務局議事調査課）
　　市議会事務局　吉田　真理子

４　視察報告書　　別紙のとおり

以　上

令和８年度　建設公営企業常任委員会　行政視察報告書

視　察　日　時	令和８年１１月９日（月）　１４時００分　～　１５時３０分
視　察　先	神奈川県三浦郡葉山町
視　察　内　容	下水道事業ウォーターＰＰＰの取組について
視　察　目　的 （視察先選定理由）	下水道事業の持続可能性確保に向け、本市においてもウォーターＰＰＰの導入に向け進めている中、すでに実施している先進の状況を学ぶため。
調　査　概　要	葉山町の下水道事業の特徴、現状と課題、これまでの官民連携の取組とウォーターＰＰＰの取組
所　感 （意見・感想・今後の課題等）	＜事業の概要＞ 葉山町は浄化槽方式を取り入れてきたが、３４年前の平成４年（１９９２年）から現在の下水道事業を開始している。このため、本市と異なり、管路の老朽化に伴う維持管理の課題に直面しているわけではない。また、今回の視察により、葉山の御用邸があることなどから、海岸沿いに処理場を立地できず、約５キロメートル山側に処理場を建設するなど特殊な事情があることがわかった。 ＜事業導入に至る経緯＞ 葉山町では、近年、下水道職員や土木技術職員の減少が深刻で（ヒト）、処理場やポンプ場の老朽化問題に加え（モノ）、下水道事業会計決算額においては、一般会計から６億円の補助金を受けている現状や人口減少による収入不足を補うための使用料の値上げも限界に来ていた（カネ）。 このような課題解決のため、管路施設全体については、民間事業体が管路・更新一体マネジメント方式（レベル３．５）を令和８年４月１日から開始している。 処理場やポンプ場などについては、コンセッション方式（レベル４．０）で別の民間事業体との実施契約を令和８年１０月３０日に締結し、令和９年４月の事業開始を目指している。 ＜本市においても参考にすべき点＞ 葉山町が、事業規模が小さいにも関わらずウォーターＰＰＰ事業を推進できている要因としては、他の自治体よりも早期に着手したこと、民間企業が参入しやすい環境整備のために町と民間の責任区分の明確化、ルールの変更を柔軟にすることなどがわかった。

令和８年度　建設公営企業常任委員会　行政視察報告書

視　察　日　時	令和８年１１月１０日（火）　１０時００分　～　１１時３０分
視　察　先	神奈川県鎌倉市
視　察　内　容	防災に関する取組について
視　察　目　的 （視察先選定理由）	南海トラフ巨大地震など大規模災害時の情報伝達、避難誘導、避難所の運営などに関する情報を交換し、本市の防災・減災対策に生かすため
調　査　概　要	鎌倉市の情報伝達手段、一時避難施設、避難経路や訓練、トイレトレーラー導入の経緯とペットとの同伴避難の課題などについて
所　感 （意見・感想・今後の課題等）	＜鎌倉市の現状など＞ 鎌倉市では、相模トラフ沿いの海溝型地震などにより発生する５メートルを超える津波が、８分後には沿岸部に到達し、市街地に深刻な浸水被害が想定されている。そのため、少しでも高い場所に迅速に避難することが求められており、民間のビルなど建物への避難は二の次となっている。また、安全な避難のための経路が定められているほか、一般的な避難所に加え、補助避難所、帰宅困難者や観光客用の一時避難施設なども計画されている。 鎌倉市では、トイレトレーラー1台を令和５年１２月から２，３００万円で導入している。令和６年の能登半島地震の際には被災地に出動している。維持費は、年間約６０万円で、平時はスポーツセンターのトイレとして使用している。 鎌倉市では、登録済みの犬は１万頭弱で、災害時には同行避難を原則としている。ペット用の備蓄品はない。令和８年７月に犬の同伴避難訓練を市民主導で実施している。訓練後のアンケートによると、参加者が知り合い同士のため、災害時の緊張感に欠けた、首輪に鑑札をつけていない、ペット用の餌や排泄シートの備蓄がないことなどが課題に上がった。 ＜今後検討すべき点など＞ 本市では、民間マンションなども津波一時避難所に指定しているが、鎌倉市では、地震による建物被害が確認できない状況で避難するとその後の対応に更なる危険が伴う可能性などから、公共施設や高台の空地への避難を想定して、地域別の避難経路ごとの動画の配信も行なっている。これらの点については、本市でも検討すべき課題である。 また、鎌倉市では、避難所の備蓄品の取扱い動画を作成しており、本市でも導入に向け検討すべきと感じた。トイレトレーラーの導入については慎重に検討すべきである。 ペットとの同伴避難に関する意見交換の結果、一般避難者へのアレルギー対策や衛生面の課題、嫌悪感、教育施設を使用するとさらなる懸念が増えるなど多くの課題があるものの、本市においても鎌倉市においても避けて通れない重要な問題があることが認識された。 ペットの種類ごとの専用の避難所の開設などが理想ではあるが、引き続き、議論を深める必要があると感じた。

視察の様子（令和８年度　建設公営企業常任委員会）

視　察　先　① １　１　月　９　日 神　奈　川　県 三浦郡葉山町		葉山町役場を訪問しました。 （葉山町議会議長の土佐洋子氏にもご同席いただきました。）
		葉山町下水道課の職員の方にご説明いただきました。
視　察　先　② １　１　月　１　０　日 神奈川県鎌倉市		鎌倉市役所を訪問しました。
		鎌倉市総合防災課と環境保全課の職員の方にご説明いただきました。

※この「視察の様子」のページは市議会事務局職員が作成しています。